

国宝 旧開智学校校舎

旧開智学校校舎は、明治9年(1876年)に完成し、その後90年近く使用された小学校の校舎です。和風と洋風が混ざりあった擬洋風の建物は、日本中が文明開化に沸いていた明治時代初期の空気を伝えています。令和元年には、近代学校建築としては初めて国宝に指定されました。



校舎の設計・施工を手がけた松本の大工棟梁の立石清重は、東京や横浜の洋風建築を見学し、校舎の設計にあたりました。建築材には日本の伝統的な材料や、寺の廃材が使われましたが、ペンキでレンガの模様を描いて西洋風に仕上げるなど工夫されました。現在は教育博物館として明治～昭和の教育資料の展示を行っています。



旧開智学校向かいの「旧司祭館」。旧開智学校より少し後に建てられ、宣教師たちの住居として使われたこの建物には、本物のレンガも使用されており、西洋建築への理解が進んでいることが見て取れます。両方見学して比べてみるのもおすすめです。(入場無料) ▶

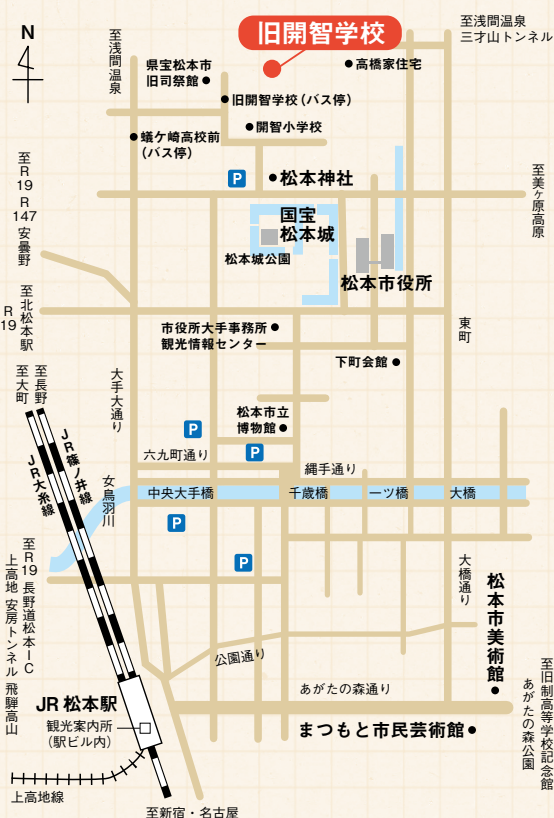
利用案内

住所：〒390-0876 松本市開智2-4-12
開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)
休館日：第3火曜日(休日の場合は翌日)、冬季(12～2月)は毎週火曜日、ほか年末年始
入館料：大人 紙チケット700円、電子チケット600円(電子チケットの購入方法はホームページを参照)
小・中学生 300円 小学生未満 無料

お問い合わせ

TEL：0263-32-5725 ホームページ <https://matsu-haku.com/kaichi/>

アクセスマップ



交通案内

バス：タウンスニーカー北コース「旧開智学校」下車徒歩1分
北市内線「蟻ヶ崎高校前」下車徒歩5分
徒歩：JR北松本駅から16分
車：長野道松本ICから約15分
駐車場あり(20台)